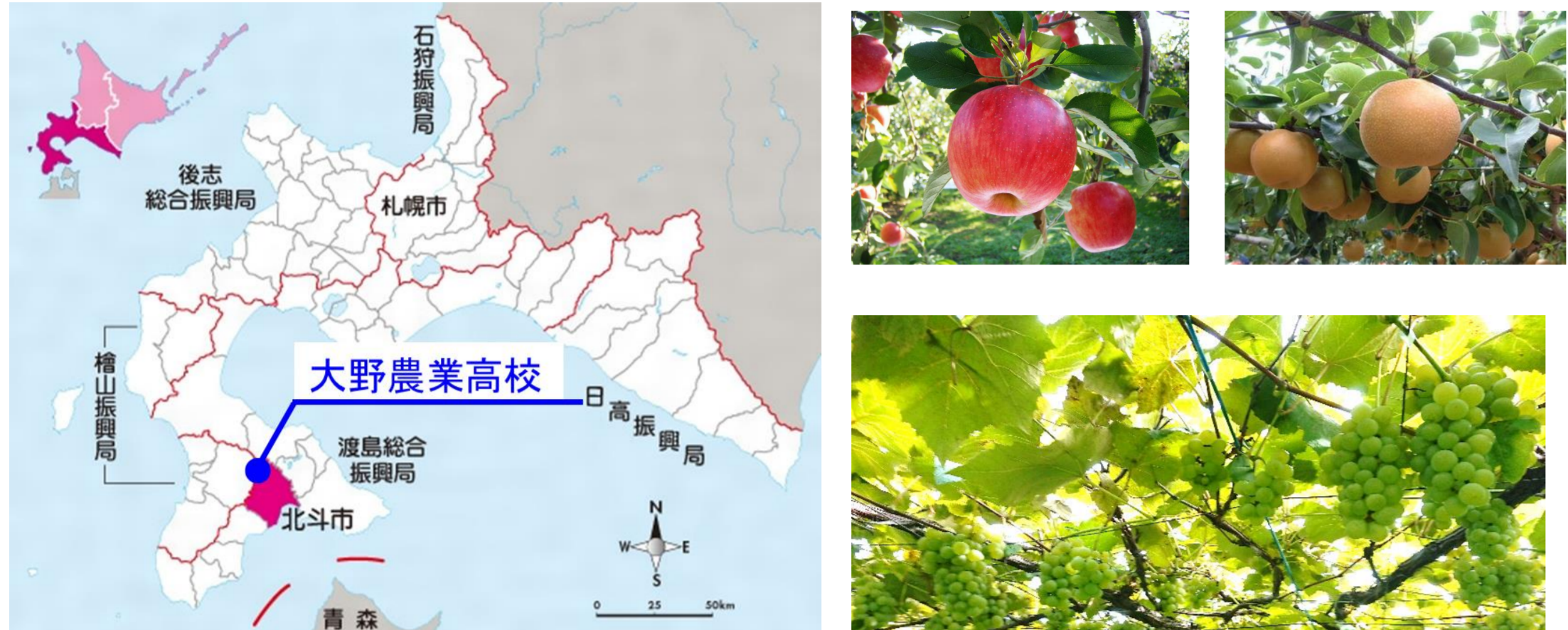


「地域内循環を中心とした環境保全型農業を目指して」

大野農業高校のある道南地方は、道内でも有数の果樹生産地です。そして私達は2020年にAS I AGAP認証を取得しました。AS I AGAPでは、環境保全型農業の重要性が提唱されています。私たちは果樹の学習を通して、果樹の管理作業では多くの農薬が使用されたり、大量の規格外果実や余剰生産物が廃棄物として産出されることを実感しました。そこで私たちは、持続可能な果樹生産をめざして、地域内循環を中心とした環境保全型農業に取り組みました。



「ASIAGAPに基づいた持続可能な果樹生産」

私達は、道南農業の主要作物である果樹生産をより発展させ、そして消費者の皆様へ安心・安全な果物を届けるために、2020年1月にAS I AGAP認証を取得しました。GAPとは、農業生産工程管理と呼ばれる、食品安全・環境保全・労働安全の3つの観点から、持続可能な農業生産を目指した取組みのことです。そのため、安心・安全な農産物生産の証明となり、SDGs 国連持続可能な開発17目標につながります。そこで私達は、GAPを取得した先輩方の思いを引き継ぎ、道南の果樹生産の更なる発展を目指して活動しています。



「研究活動～環境に配慮した持続可能な果樹生産を目指して～」

未熟果・剪定枝の堆肥化による地域内循環農業への取組み

果樹の管理作業では、毎年多くの未熟果や剪定枝が産出されます。この未利用資源を活用し地域循環型農業を目指すために、未熟果や剪定枝の堆肥化試験に取り組んでいます。昨年度では、米ぬかを混和した試験区では切り返しの度に温度上昇が見られ、発酵促進のために米ぬかを混和することが有効であることがわかりました。



IPM (総合的病害虫防除) に基づいた減農薬果樹管理

近年の果樹栽培では農薬の過剰散布が問題となっています。そこで道南農業試験場の池田幸子様を講師としてお招きしIPMの学習を行いました。本校のリンゴ黒星病の発生状況の調査や、病原菌の観察、耕種的方法による防除の試みについて学習しています。



規格外果実・余剰生産物の活用と廃棄物の削減

地元企業である函館千秋庵総本家様と連携した規格外の洋ナシを用いた和菓子の開発や、はこだてわいん様との連携による本校で生産された余剰ブドウを用いたワインの製造、函館市のペーカリーであるル・レーフ様との本校の規格外リンゴを用いたピロシキの開発などに取り組まれました。また、ふるさと納税返礼品やSTV料理番組などにも採用されました。



外部発信・外部評価

私たちの活動は、多くの場で発表させて頂き、高い評価を頂きました。多くの皆様の応援を励みにこれからも活動を続けていきます。



「持続可能な果樹生産と地域振興を目指して」

北斗市は農業が盛んで自然豊かなとても美しい町です。北斗市の豊かな自然を守り、北斗市を守って行くために、私達はSDGsに基づいた活動に取り組んでいきます。

①果樹から始まる産業ネットワークの構築

私たちは活動を通して、規格外農産物も加工することにより新たな商品として販売できること、それが地域の新たな産業として芽生えていくことを実感しました。その起点として、一次産業である農業はとても重要です。このような、農業を起点とした産業ネットワークの構築が、地域産業を活性化させ、地域農業を元気にする方法だと考えます。そして私たちは、ICTを活用した農業生産の情報発信・魅力発信に取り組み、地域産業を結びつけ、農業を基盤とした産業ネットワークを構築し、道南地方の活性化を目指します。



②果樹から始まる北斗市の魅力発信

大野農業高校の果樹園は、とても美しいところです。そして大野農業高校のある北斗市も、農業が盛んで自然豊かなとても美しい街です。この里地里山である豊かな自然を守り、北斗市の農業を守るために、北斗市の農業と豊かな自然を皆に知ってもらうための動画を作成します。作成した動画を発信することにより、多くの人に北斗市の素晴らしさを知ってもらいます。



北海道大野農業高等学校
果樹専攻班
令和4年度 3年生 4名
2年生 3名